



# 病院NEWS

no. 374  
2015  
08/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 地域医療再生医学講座

客員教授 安岐 康晴



### 地域医療再生医学講座の役割

当講座は県内の中でも特に地域医療崩壊が進んでいる小豆医療圏域における崩壊の危機を救うという目的で、今年度は小豆島町単独、来年からは小豆島町と土庄町からなる小豆島中央病院企業団からのご寄付に基づいて設置されました。私のほか、循環器・腎臓・脳卒中内科より原大雅先生と消化器・神経内科より三村志麻先生が同時に客員教授に着任され、現在は臨床医および指導者として地域医療再生のための実践を小豆島町立内海病院において行っておりますが、来年度には現在小豆島町の池田地区で建築中の小豆島中央病院に舞台を移す予定となっております。

小豆島は、高松市の約20km北東沖に位置する県内最大の島で、変化に富んだ海岸線と多数の半島と入江があり、南側には池田湾、内海湾があります。温暖な瀬戸内海式気候を活かし、オリーブやミカン、スモモなどの栽培がさかんであるとともに風光明媚な土地柄で、香川県でも有数の観光地となっておりますが、人口の減少が大きな問題となっております。最大で6万人ほどいた人口も現在は半分以下となってしまいましたが、高齢者が多いために医療のニーズは決して減ってはおりません。それにもかかわらず常勤医師の数が年々減少してしまい、現在のような危機的状況を迎えてしまいました。これを打開することが当講座の存在意義であります。

そこで我々はまず自分たち自身が臨床医として島の人たちの診療にあたることにより、直接地域医療の再生を目指しております。内科疾患患者についてはもちろんのこと、時間帯によっては待機医として救急搬送された患者を含めて緊急を要する患者への対応にあたっております。ここで対応できない患者については県内の病院へ搬送することとなりますが、その際には船で海上輸送するか、緊急の際にはヘリコプターで空輸するなど、できるだけ迅速に患者さんを運ぶことを心がけておりますが、県内の病院とのスムーズな連携も非常に重要な任務となります。

### 教育および研究

地域医療再生に関する研究も進めていき、再生するための方策をいろいろと考えることを目標にしております。ほかの地域で医療再生に成功している例について細かく分析し、当地区に当てはめることができるのか慎重に検討していきたいと考えており、医療従事者にとって魅力ある職場にすべく改善点を明らかにし、関係者との討論も必要となります。医師だけでなく看護師の数を増やしていくことも非常に重要であり、地域住民や学生への啓蒙活動も重要な任務であり、医学生および看護学生への教育も臨床的な指導のみならず地域医療を支えようという意思を持ってくれることを目指しています。またそれぞれの得意分野で臨床研究および基礎的研究にも力を注いでいく所存です。



## 放射線部長 就任のご挨拶

柴田 徹



平成27年6月1日付にて放射線部長を拝命致しました。放射線部は医師、診療放射線技師、看護師、事務職員など総勢60余名から構成され、放射線診断(X線撮影、CT・MRI検査、血管造影、核医学検査など)ならびに放射線治療を担当します。周知の通り、当院は特定機能病院かつ災害、がん診療連携など各分野の地域拠点として高度医療推進の重責を担っております。放射線部における各種検査技術の向上、安全かつ効率的な検査・診療の実施、また高品質な画像情報はそれに必須の基盤となります。将来に渡り診療各科の先進的・専門診療に大いに貢献できますよう、スタッフ一同とともに更なる研鑽を重ねたいと存じます。放射線診療における最新技術の実践には、定期的・継続的な機器の更新や専門的・有能な人材の充実は不可欠であります。例えば、平成26年度に最新MRI装置が加わり機能強化がなされました。高磁場を活かして得られる高解像度の恩恵により微細病変の画像描出が可能なることを皆様は実感されたことで

しょう。また、私の専門分野である放射線治療においても同時期にシステム更新がなされ、従来当院では不可能であった強度変調放射線治療(IMRT)や画像誘導(IGRT)など待望の高精度治療を開始しました。IMRTはコンピュータ技術を駆使して、腫瘍形状に沿った線量集中と正常組織の線量低減を同時に満たし、腫瘍制御と機能温存を両立可能です。稼働以来9か月で早くも約50名の症例(咽頭、喉頭などの頭頸部癌および前立腺癌)にIMRTを実施できましたことは、偏に関係各位のご支援の賜物と深謝申し上げます。比類なき高精度治療技術の実績を着実に重ねつつ、同時に診療報酬上のインセンティブ獲得・患者単価の増加の期待に適うようお勤め致します。加えて、今後は部長として診断・治療の両面から放射線部全体の一層の発展に尽くす所存です。ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ致します。

## 急に歯がぐらぐらしてきた!! どうして!

香川大学医学部 歯・顎・口腔外科 三宅 実

”今までどうもなかったのに急に歯がぐらぐらしてきた”と相談を受けることは少なくありません。突然、歯がぐらぐらすることは、歯の外傷以外では、ほとんどの場合、歯槽膿漏の進行によるものです。現在、日本人の歯の喪失の一番の原因は、虫歯ではなく歯槽膿漏によるものなのです。歯茎から膿が出る”歯槽膿漏”とは、実は、病気の名前ではなく症状の表現の一つで、正式には、辺縁性歯周炎と言われます。この辺縁性歯周炎は、30歳くらいの比較的若年者から発症するとされています。歯周組織の炎症が徐々に始まり、時々、急性症状(腫れて血が出る)を呈することがありますが、若いうちは、歯を支える骨自体しっかりしており動揺もなく、数日で改善されてしまうので、放置されることが多いようです。しかし、歯周炎は徐々に進行し、歯を支える骨(歯槽骨)が、溶けて歯の根の長さの半分以下になると歯が動揺するようになってきます。ですから、急に”歯がぐらぐらした”と感ずるかもしれませんが、実は、病気が進行していたのです。

では、この歯周炎を早期に発見する方法はあるのでしょうか? 残念ながら自覚症状はほとんどありませんので、歯科医院の受診が必要です。X線検査をして歯槽骨の状態を確認し、また歯周ポケットの深さやその中の出血の状態を調べます。ポケットの中の歯垢や歯石を専用の用具を用いて除去したり、場合によっては、手術で歯周の慢性炎症組織を除去し、歯肉の形態を整えたりします。米国では、歯科医院は特に問題がなくても定期的に受診するところであるという認識がかなりしっかりありますが、まだ日本では、歯が痛かったり、歯茎が腫れたり何か問題がないと歯科医院を受診しません。これから、ご自分の歯でしっかり何でも食べられるようにしておくために、何ら症状がなくても、是非、歯科医院を定期的に受診し、歯周検査・メンテナンスを受けられることを強くお勧めいたします。

毎日新聞「四国健康ナビ」H27.5.12掲載

四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には  
許諾されていないため、転載記事を除きました。

## イキイキさぬき健康塾 -香川大学病院と最新医療-

「よくわかる食物アレルギーの基礎知識」

平成27年9月6日(日) 11:00~12:00

丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町吾番街東館4階

講師:小児科 西庄 佐恵 助教

参加費無料、事前申込不要 問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)



## 第9回七夕コンサートを開催

### 医療支援室

平成27年7月1日(水) 18時30分から第9回七夕コンサートを開催しました。

4組の出演者が、入院患者さん達の気分転換を図ってくれました。

医学部学生のアカペラサークルのバラード、フラダンスを愛するグループ、軽快な津軽三味線、平井小学校の若手教員によるフレッシュな演奏、例年にない盛り上がりであったという間のひとときでした。楽しい時間をありがとうございました。



## 広域医療搬送訓練に参加して

### 救命救急センター師長 DMAT看護師 國方 美佐

6月7日に行われた陸上自衛隊第14旅団の災害対処訓練に当院が参加しました。これは巨大地震により高知県で多数傷病者が発生したとの想定で行われた四国全体の訓練です。当院での訓練内容は、自衛隊機によりDMAT隊員が高知県の室戸広域公園に投入され、高知の重症患者を香川県の当院まで搬送することでした。病院では本部要員と自衛隊通信隊員が待機し、患者受入準備を行いました。搬送班は、プロペラ音の響く機内で効率的な治療を行うために医療資器材を配置したり、患者の状態変化を見逃さないようコミュニケーションの方法を工夫しました。自然災害だけでなく様々な災害が発生した際に、今回の訓練を活かし自衛隊とも協力して、一人でも多くの人命救助に努めたいと考えています。



▲室戸広域公園での訓練の様子

## 臨床研究に関するご案内

### 医学部倫理委員会委員長

### 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H27.9月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/5	9:00~17:00	ひめぎんホール	第17回中国四国脳卒中研究会	脳神経外科	(087)891-2207
9/6	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香番街東館4階	イキイキさめぎ健康塾-香川大学病院と最新医療- 「よくわかる食物アレルギーの基礎知識」	総務課	(087)891-2008
9/16	14:00~16:00	病院2階 カンファレンスルーム	H27年度第1回腎臓病教室 (要予約・外来担当医師までお申し出ください)	腎臓内科	(087)891-2267

## 看護職員募集

### 中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

### 編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、  
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、  
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、  
村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、  
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕